

富山県下農家の糖尿病調査（第5報）

富山県農村医学会

石田 礼二 越山 健二 北川 鉄人
 水木 正雄 一柳 兵蔵 渡辺 正男
 竹部喜代子 跡路 順子

富山県農村医学研究会は、昭和50年に県下農家世帯3万人を対象に糖尿病の集団検診を行い、尿糖陽性率6.3%の結果を得、さらに尿糖陽性者に50g G T Tによる二次検査を施行し、420人の耐糖能異常者を見出した。

この数は検尿施行者の4.3%に当たる。即ち富山県下農家では4.3%の耐糖尿異常者がいることが判明した。その後異常者にアンケート調査による分析を行い報告したが、昭和54年は再び県下4地区で糖尿病集団検診を行ったので報告する。

調査地区：新湊、黒部、氷見、平村。

調査方法：

第一次検査：昭和50年と同様、夕食後2時間の尿をWet Pack法によって集め糖の定性を行った。

第二次検査：尿糖陽性者は近くの医療機関で50g G T Tを施行してもらい、その結果を集計した。50g G T Tの判定は日本糖尿病学会の勧告によった。

結果：

第一次検査：表1の如く、検尿者総数3,907人、尿糖陽性者は男10.7%、女4.5%、計6.2%であった。この陽性率は昭和50年調査の男12.1%、女4.0%、計6.3%と略類似していた。又地域差もない。

第二次検査：50g G T T受験者は尿糖陽性者の21.6%と低かった。尚、平村は50g G T

T受験不能であったので、集計から除外した。

表1 尿糖陽性者

		検査数	陽性者	%
新	男	187	22	11.8
	女	908	43	4.7
湊		計 1,095	65	5.9
黒	男	255	22	8.6
	女	387	12	3.1
部		計 642	34	5.3
氷	男	496	57	11.5
	女	1,309	62	4.7
見		計 1,805	119	6.6
平	男	122	12	9.8
	女	243	12	4.9
村		計 365	24	6.6
合	男	1,060	113	10.7
	女	2,847	129	4.5
計		計 3,907	242	6.2

耐糖能異常者は表2の通りで、50g G T T施行者のうち糖尿病型42.6%、境界型27.7%、計70.2%で、前回の糖尿病型32.0%、境界型36.2%に比し糖尿病型の占める割合が高かった。

表2 50g G T T施行者

	尿糖陽性者数	50g G T T検査数	糖尿病型※	境界型※	合計※
男	101	28(27.7)	10(35.7)	7(25.0)	17(60.7)
女	117	19(16.2)	10(52.6)	6(31.6)	16(84.2)
計	218	47(21.6)	20(42.6)	13(27.7)	33(70.2)

() : % ※は50g G T T検査数に対する%

尚、検尿者総数に対する耐糖能異常者の割合は表3の通りで、糖尿病型 2.6%、境界型 1.7%、計4.3%で、前回と略同じ割合であった。

表3 一次受診者に対する耐糖能異常者の割合

	糖尿病型	境界型	合計
男	3.9%	2.7%	6.6%
女	2.4%	1.4%	3.8%
計	2.6%	1.7%	4.3%